



「実り多き秋」にするためには？

校長 齊藤 光司

10月17、18日に実施した文化発表会では、生徒たちの若いエネルギーを感じることができました。今年の文化発表会も、生徒たちの考えを大切にしながら、新たな取組も取り入れ、昨年度を上回る素晴らしい発表会となりました。スローガン「輝け、我らが一等星～個性を出し切り、未来へつなげ～」にあるように生徒たち一人一人が精一杯表現し、素晴らしい文化発表会にしていこうという気持ちが伝わってくる作品や舞台での表現を見ることができました。短い準備期間でしたが、生徒たちと教職員ができる限りの努力を行い、晴海西中学校ならではの文化発表会を創り上げてくれました。晴海西中学校の生徒たちは、本当に素晴らしいメンバーが集まっていて、大変うれしく思っています。地域の方々には、晴海西中学校の看板は「生徒たち」です！と話しています。

これからも学校の看板を背負って地域でも活躍してください。学校の「よい」「悪い」は生徒のみなさんで決まります。一人一人が胸を張って「私は晴海西中学校の生徒です！」と常に言えるように、みなさんの力でさらに素晴らしい晴海西中学校を創り上げていきましょう。

さて、暑い夏が終わり、過ごしやすい季節となってまいりました。かなり寒い日もありますが、何をするにもよい季節となってきました。「実り多き秋」にするために具体的な目標や取り組みたいことを、自分で決めて欲しいと願っています。いくつかの視点から具体例を挙げましたので、参考にしてください。



<学校生活・活動面での実り>

- ・委員会活動や係活動などに熱心に参加し、学校生活をより良くするために責任感をもち取り組む。
- ・卒業後の進路に向け、高校のオープンスクールや学校説明会などに参加し、他校の中学生の様子を見て刺激を受けたり、将来の目標を具体的にもったりする。

<文化・趣味・体験面での実り>

- ・美術館や美術展に行くことで、感受性を豊かにしたり、様々な活動を通して視野を広げ、創造力を高めたりする。また、落ち葉やどんぐりなど自然の素材を使ったクラフトやアート制作を楽しむ。
- ・秋ならではの体験（紅葉狩りや秋の散歩に出かけ、季節の変化や自然の美しさを感じるなど）や、秋の味覚（サンマやカボチャ、キノコなどの旬の食材）について調べ、食文化に興味をもつ（食欲の秋）。

<生活習慣面での実り>

- ・感染症などに気を付け、心身ともに健全である生活を送るために、規則正しい生活習慣を維持する。
- ・学校行事や勉強などが忙しくても、十分な睡眠時間（中学生は約8～10時間）を確保し、生活リズムを崩さないように努める（夜更かしや朝寝坊をしない）。
- ・勉強時間と休憩時間、スマートフォンやゲームをする時間などに明確なメリハリを付け、集中力を保つ。

<学習面での実り>

- ・「読書の秋」として、勉強の合間に興味のある本や、少し難しめの長文読解力向上につながる本を読む習慣を身に付ける。
- ・学習が本格化し、定期考査も近づいているため、「勉強の秋」として自らの課題を克服し、学力向上を目指す。

個人的には、ぜひ読書に親しむ時間を多くとり、「読書から多くの実りを得た」と実感してほしいと考えています。中学生の時に素晴らしい本と出会い、その出会いによりみなさんの未来に「多くの実り」があるかもしれません。

11月の主な行事予定

4日（火）～7日（金） 三者面談（3年）

10日（月） 生徒朝礼

11日（火） 避難訓練

12日（水）～14日（金） 2学期末考査

18日（火） 防災教室（2・3年）

19日（水） 領域診断テスト

20日（木） デフリンピック見学（2年）

28日（金） 連合音楽会（2年）